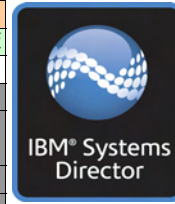


■ IBM Systems Director x86 - 各Editionに含まれる製品・機能

構成要素	IBM Systems Director		
	Standard	Express	サーバー同梱版
IBM Systems Director	✓	✓	✓
Active Energy Manager 消費電力・温度測定[モニタリング] 運用・最大消費電力値設定 [キャッピング・セービング]	✓	✓	
VMcontrol Express	✓	✓	
Transition Manager for HP Systems Insight Manager	✓	✓	
Service and Support Manager	✓	✓	
Network Control ※1	✓		
Tivoli Provisioning Manager for OS Deployment	✓		
Virtual Media Key	✓※2		
保守サポート	1年/3年選択可		※3



表記について

✓…機能が提供されます

※1 限定使用版。ライセンスによる Network Control の使用には、以下の制限が適用されます。ライセンスはディスクバリー、インベントリー、および状況のモニターなどのネットワーク・デバイス管理を実行し、ネットワーク診断を使用することができます。拡張ネットワーク・トポロジ表示、ベンダー構成ツールへのインターフェース、およびホスト VLAN の構成を含め、それ以外の目的で Network Control を使用するには、別途IBM Systems Director Network Control for x86製品のライセンスが必要となります。

※2 ・標準で、VIRTUAL MEDIA KEYの機能を提供しているシステム装置および、VIRTUAL MEDIA KEY(46C7526/46C7527)導入済みシステム装置につきましては、Standard (95Y1111/95Y1115)をご選択ください。

サポート対象システム：x3500M3/x3690X5/x3755M3/x3850X5/x3950X5および、VIRTUAL MEDIA KEY(46C7526/46C7527)導入済みシステム装置。またはBladeサーバー。

・(95Y1113/95Y1117)Standard with VIRTUAL MEDIA KEY for エントリーシステムには、IBM Systems Director Standard x86 V6および(46C7527)IBM VIRTUAL MEDIA KEY FOR ENTRY SYSTEMS同等品が含まれます。  
サポート対象システム：x3200M3/x3250M3/x3400M3/x3620M3/x3630M3

・(95Y1114/95Y1118)Standard with VIRTUAL MEDIA KEYには、IBM Systems Director Standard x86 V6および(46C7526)IBM VIRTUAL MEDIA KEY同等品が含まれます。  
サポート対象システム：x3550M3/x3650M3

※3 ServicePac for System x-SWにて提供されます。[1年/3年/5年選択可]

■ IBM Systems Director x86 - 製品一覧

IBM Systems Director		サービス&サポート				備考
		1年付き		3年付き		
		製品番号	料金(税別)	製品番号	料金(税別)	
Standard	Standard x86 V6	95Y1111	30,500円	95Y1115	42,680円	
	Standard with VIRTUAL MEDIA KEY for エントリーシステム	95Y1113	47,300円	95Y1117	66,200円	(46C7527)IBM VIRTUAL MEDIA KEY FOR ENTRY SYSTEMS付き。
	Standard with VIRTUAL MEDIA KEY	95Y1114	47,300円	95Y1118	66,200円	(46C7526)IBM VIRTUAL MEDIA KEY付き。
Express	Express x86 V6 Sライセンス	68Y9506	5,250円	68Y9613	15,750円	CPU1ソケットのサーバー用/VIRTUAL MEDIA KEYなし x3200 M3/x3250 M3/BladeCenter HS12
	Express x86 V6 Mライセンス	68Y9507	10,500円	68Y9614	31,500円	CPU2-4ソケット迄のサーバー用/VIRTUAL MEDIA KEYなし x3400 M3/x3500 M3/x3550 M3/x3620 M3/x3630 M3/ x3650 M3/x3690 X5/x3755 M3/x3850 X5/x3950 X5/ BladeCenter HS22/HS22V/HX5
	Express x86 V6 Lライセンス	68Y9508	26,250円	68Y9615	78,900円	CPU5ソケット以上のサーバー用 x3850 X5/x3950 X5の2ノード構成

プラグイン・ライセンス製品

●Active Energy Manager

導入するサーバー単位にライセンス及びサブスクリプションが必要になります

製品番号	価格(税別)	製品名
46D1008	26,000円	Director Active Energy Manager x86 V4.1(ライセンス+新規1年サブスクリプション)
46D0969	5,200円	Director Active Energy Manager x86 V4.1(継続用1年サブスクリプション)
46D0970	13,000円	Director Active Energy Manager x86 V4.1(期限切れ用1年サブスクリプション)
46D0968	13,000円	Director Active Energy Manager x86 V4.1(CD Media Pack)

●IBM Systems Director Network Control for x86

ライセンス	サービス&サポート	製品番号	料金(税別)	備考・課金体系
サーバー	1年付き	60Y0131	262,500円	サイズに関わらず1台毎に1ライセンス。ブレードサーバーの場合は、ブレード1枚毎に1ライセンス必要。
スイッチ：当該機器に備わったポート同士を接続し"情報"をやり取りするネットワーク端末(スイッチおよびルーター)				
スイッチS	1年付き	60Y0132	105,000円	1U/2Uサイズで、ポート数が固定されているもの、およびBladeCenter スイッチ・モジュール
スイッチM		60Y0133	525,000円	モジュラー形式で、最大8個までのオプション・インターフェースやコントローラー・モジュールをサポートするもの
スイッチL		60Y0134	1,050,000円	モジュラー形式で、8個以上のオプション・インターフェースやコントローラー・モジュールをサポートするもの

上記の IBM Ethernet Router および IBM Ethernet Switch のリストは、当ソフトウェアの課金上の分類であり、サポート対象となるスイッチの全リストは下記を参照してください。英語版のInformation Centerの情報最新になります。

[http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/director/v6r2x/index.jsp?topic=/com.ibm.sdmn.adv.helps.doc/fnc0\\_r\\_network\\_ctrl\\_device\\_support.html](http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/director/v6r2x/index.jsp?topic=/com.ibm.sdmn.adv.helps.doc/fnc0_r_network_ctrl_device_support.html)

## 製品の機能概要

### ■ IBM Systems Director V6.2.1

IBM Systems Director(以下ISD)は、異機種混合の環境全体で物理システムおよび仮想システムを管理する仕組みを簡素化するプラットフォーム管理用の基礎ソフトウェアです。ISDは、業界標準を採用して、IBM および IBM 以外の x86 プラットフォームにわたって複数のオペレーティング・システムおよび仮想テクノロジーをサポートします。

ISDでは、単一のユーザー・インターフェースによって管理対象システムを一貫性のある形で表示し、それらのシステムの相互関係を判別し、それぞれの状況を識別することができます。したがって、技術的リソースとビジネス・ニーズの相関関係を把握しやすくなります。IBM Systems Director に組み込まれた一連の共通タスクには、基本管理に必要な多くのコア機能が用意されています。したがって、すぐに使用可能なビジネス価値を提供することができます。このような共通タスクには、ディスクカバリー、インベントリー、構成、システム・ヘルス、モニター、更新、イベント通知、および管理対象システム相互間の自動化が含まれます。

IBM Systems Director の Web インターフェースおよびコマンドライン・インターフェースでは、これらの共通タスクおよび機能の実行を中心とした一貫性のあるインターフェースを提供します。

- 詳細なインベントリーを持つネットワーク上のシステム、および他のネットワーク・リソースとの関係を検出、ナビゲート、および視覚化する
- システムで発生した問題を通知し、問題の原因をドリルダウンする
- システムに更新が必要な場合にユーザーに通知し、スケジュールに従って更新を配布してインストールする
- システムのリアルタイム・データを分析し、管理者に問題の発生が近いことを通知するためのクリティカルしきい値を設定する
- 単一システムの設定を構成し、その設定を複数のシステムに適用できる構成プランを作成する
- インストール済みプラグインを更新して、新しいフィーチャーおよび機能を基本機能に追加する
- 仮想リソースのライフ・サイクルを管理する

## プラグインの機能概要

### ■ IBM Systems Director Active Energy Manager V4.3.1

Active Energy Manager を使用して、IBM サーバーと BladeCenter システムの電源および冷却条件をモニターし、管理します。IBM 以外のシステムについても、電力配分装置 (PDU)、センサー、ファシリティー、ソフトウェア統合などの計測プロダクトを使用してモニターすることができます。Active Energy Manager のリソースに対して実行できるいくつかのタスクを以下に示します。

- 電力使用量データのモニター
- 電力使用量データの収集
- 電源の管理 (省電力モードの設定/電力上限値の設定/電源関連タスクの自動化等)
- 計測デバイス (PDU、センサーなど) の構成
- データのエクスポート
- イベントの表示
- エネルギー費用の計算
- 推定省電力の計算
- しきい値の設定
- 電源ポリシーの作成と設定
- IT リソースに影響を及ぼす電源および冷却装置のモニター

データ・センターをより効率的に稼働させるための第一歩は、個々の装置の電源および冷却特性を把握することです。これは、Active Energy Manager でリアルタイム・モニターによって行うことができます。

Active Energy Manager を使用して、エネルギー費用を節約するための措置を自動的に講じることができます。

また、エネルギー管理機能は IBM Systems Director の機能と統合されています。例えば、エネルギー関連しきい値の設定は、IBM Systems Director で設定できる他のしきい値を設定するために使用されるユーザー・インターフェースと同じユーザー・インターフェースを使用して行われます。

さらにまた、IBM Systems Director のリソース・ナビゲーターでシステムのプロパティを表示する際に、Active Energy プロパティも表示することができます。最も重要なシステムに注意を促すため、IBM Systems Director 内でエネルギー傾向グラフのサムネイル・ビューも表示することができます。

さらに、多くの Active Energy Manager タスクは、システム管理コマンドライン・インターフェース (smcli) を使用してスクリプト化することが可能です。

Active Energy Manager は、ハードウェアおよびファームウェア・コンポーネントを含む、より大きいエネルギー管理処理系の一部です。

### ■ IBM Systems Director VMControl Express Edition V2.3.1

IBM Systems Director VMControl は、複数の製品のクロスプラットフォーム・スイートで、これによって、お客様が必要とするオペレーティング・システムおよびソフトウェア・アプリケーションで構成される仮想サーバーを作成するための、仮想アプライアンスを迅速に配置することができます。また、リソースをグループ化してシステム・プールを作成し、ご使用の環境でさまざまなワークロードを集中的に管理および制御することもできます。

VMControl Express Edition には、以前は IBM Systems Director Virtualization Manager の一部だった機能が含まれています。

これによって、以下の作業を行うことができます。

- 仮想サーバーを作成する。
- 仮想サーバーを編集する。
- 仮想サーバーを管理する。
- 仮想サーバーを再配置する。

### ■ IBM Systems Director Transition Manager V6.2 for HP Systems Insight Manager

Transition Manager は、HP Systems Insight Manager により管理されているシステムをディスクカバリーし、そのシステムを IBM Systems Director で管理するようにスムーズに移行させることができます。移行させるシステムは、IBM 製または非 IBM 製のどちらのハードウェアであっても稼働しますが、現在、非 IBM 製サーバーに関してはソフトウェア保守サポート対象ではありません。

HP Systems Insight Manager 管理対象システムを表示し、それらのシステムをディスクカバリーする移行ツールを実行し、必要な IBM Systems Director タスクを開始することができます。

さらにこれは、HP システムからイベントを表示し、それに基づいてイベント・アクション・プランを作成できるので、HP Systems Insight Manager プラットフォーム管理を利用してユーザーは、IBM Systems Director を一層簡単に使い始めることができます。

移行の完了後は、IBM ハードウェア向けの優れたシステム管理機能を提供する、IBM Systems Director を使用してシステムを管理することができます。

さらに、引き続き HP Systems Insight Manager を使用してシステムを管理することもできます。

## ■ IBM Systems Director Service and Support Manager V6.2.1

Service and Support Manager は、モニター対象エンドポイント・システムで発生した保守可能ハードウェア問題を自動的に検出し、その問題に関するサポート・データを収集します。Service and Support Manager に統合されている Electronic Service Agent™ ツールは、保守可能ハードウェア問題とそれに関連するサポート・ファイルを IBM サポートに送信します。

Service and Support Manager には以下の機能が組み込まれています。

- すべてのモニター対象システムの保守可能ハードウェア問題を自動的に検出し、IBM サポートに報告します。
- 統合されている Electronic Service Agent ツールによって、保守可能ハードウェア問題、関連するサポート・ファイル、パフォーマンス管理データを IBM サポートに安全に送信します。
- スケジュール設定済みのシステム・インベントリと診断サポート・ファイルを収集し、IBM データベースに安全に送信します。このインベントリ情報は、IBM サポート担当員がユーザーの問題を解決するときに使用できます。
- 暗号化と認証を使用した安全な接続によって IBM サポートと通信します。
- 保守可能問題が検出されて保守要求がオープンしたときに電子メール通知を送信するためのオプションが含まれます。

## ■ IBM Systems Director Network Control V1.2.2

IBM Systems Director Network Control ソフトウェアは、統合化されたサーバー、ストレージ、およびネットワークの管理機能により、IBM のネットワーク環境や IBM 以外のネットワーク環境の管理を単純化し、自動化できるように設計されています。IBM Systems Director Network Control は、既存の IBM Systems Director やベンダー・ベースの構成アプリケーションのネットワーク管理機能を活用します。また、ネットワークの管理タスクを単純化して、ネットワーク環境の統合管理を行えるように設計されているので、節減やコスト削減が期待できます。

Systems Director Network Control は、以下の支援を行うことを目的としています。

- マルチベンダーのネットワーク装置管理を単純化する。
- ネットワーク管理タスクを自動化する。
- 物理ネットワークと仮想ネットワーク、およびそれらのネットワーク装置をすべて表示する。
- ネットワーキング装置およびホスト・システムの VLAN の表示と管理を行う。
- 新しいコンバージド・ファブリック・ネットワーク・テクノロジーを活用して IT コストを削減する。
- Brocade スイッチのコンバージド・エンハンスト・イーサネット (CEE) の設定構成を統合する (IBM System Storage Data Center Fabric Manager (DCFM) が必要)。

Network Control for x86 v 1.2 がサポートする装置には、以下のものが含まれます。

- IBM BladeCenter がサポートするスイッチおよびブレード NIC
- QLogic FCoCEE アダプター
- Brocade FCoCEE スイッチおよび Brocade ファイバー・チャンネル・スイッチ
- Juniper イーサネット・スイッチ
- BNT CEE スイッチ・モジュール
- Cisco FCoCEE スイッチ

サポートされる装置の更新リストについては、次のサイトをご覧ください。

[http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/director/v6r2x/index.jsp?topic=/com.ibm.sdnm.adv.helps.doc/fnc0\\_r\\_network\\_ctrl\\_device\\_support.html](http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/director/v6r2x/index.jsp?topic=/com.ibm.sdnm.adv.helps.doc/fnc0_r_network_ctrl_device_support.html)

## ■ IBM Tivoli Provisioning Manager for OS Deployment V7.1.1

IBM Tivoli Provisioning Manager for OS Deployment V7.1.1 は以下を提供します。

- 汎用イメージ、ドライバー注入、および最適化されたイメージ・リポジトリ機能によって、異機種混在システム用の少数のゴールデン・マスター・イメージで標準化します
- オペレーティング・システムのリモート・デプロイメントを自動化して、コストのかかるオンサイト・サポートをなくします
- デスクトップおよび OS のマイグレーションを自動化します
- お客様のデータが確実に安全で、デスクトップ・システムがベスト・プラクティスの安全な構成に確実に準拠することを確保する取り組みをサポートすることにより、セキュリティ・リスクを最小限に抑えます
- 1 つのシンプルなインターフェースから Windows、Linux、および VMware を配置します
- コンピューター製造元ごとのドライバー選択
- Microsoft Windows XP および Microsoft Vista インストール/クローン作成に関する Federal Desktop Core Configuration (FDCC) 認定

IBM Tivoli Provisioning Manager for OS Deployment V7.1.1 は、次のように大幅に改善された機能を提供します。

- 拡張された WinPE Windows デプロイメント
- Windows/Linux on Intel に関する Federal Information Processing Standard (FIPS) 140-2 暗号準拠
- Microsoft Windows XP および Microsoft Vista インストール/クローン作成に関する Federal Desktop Core Configuration (FDCC) 認定
- CD-USB ブート、デプロイ、およびリストア - DHCP または PXE の前提なしの、ネットワークベース・プロビジョニングを行うために WinPE や MCP Linux を使用してブートを可能にします

## ■ IBM Virtual Media Key

IBM Virtual Media Key を導入することにより、System x に搭載されているシステム管理機能：Integrated Management Module (IMM) が拡張されます。System x サーバーの完全なリモート制御を提供し、サーバーまたはオペレーティング・システムの状態に関わらず、管理者がサーバーをリモート側で完全に管理することを可能にします。

IBM Virtual Media Key を適用することにより、以下の機能を拡張できます。

- リモート制御
- cKVM機能[Concurrent Keyboard, Video and Mouse] マネージメントモジュールを介して複数ユーザーが同時にコントロールする事を可能とします。
- ブルースクリーンキャプチャ画面取得と表示

x3200M3/x3250M3/x3400M3/x3620M3/x3630M3の場合、(46C7527)IBM VIRTUAL MEDIA KEY FOR ENTRY SYSTEMSを選択してください。

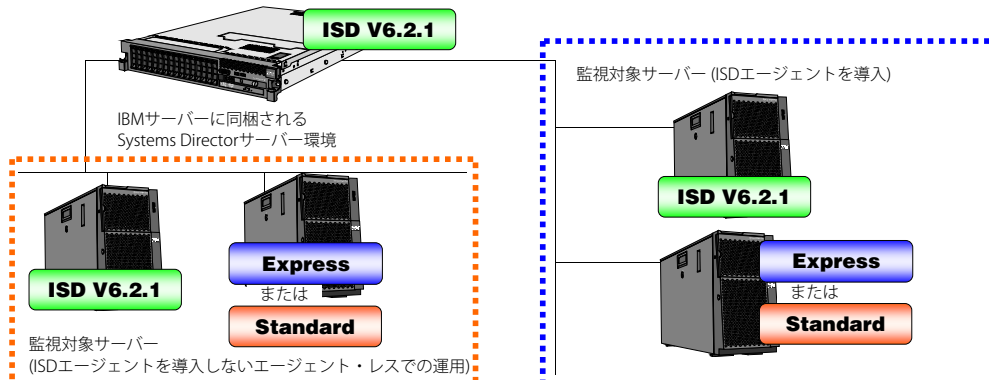
x3550M3/x3650M3の場合、(46C7526)IBM VIRTUAL MEDIA KEYを選択してください。

x3500M3/x3690X5/x3755M3/x3850X5/x3950X5の場合、標準で、VIRTUAL MEDIA KEYの機能が提供されます。

■ IBM Systems Director (以下ISD) ライセンス・ガイド

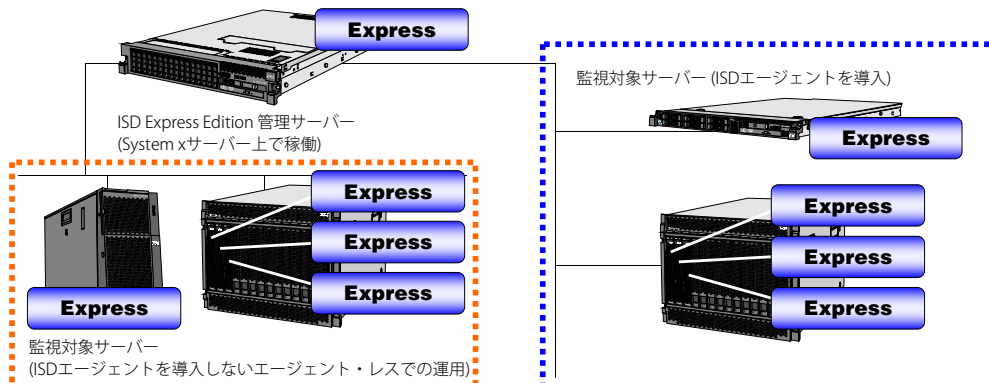
<b>Express</b>	ISD Express Editionライセンスが必要	<b>AEM</b>	Active Energy Managerライセンスが必要	<b>TPM for OSD</b>	Tivoli Provisioning Manager for OS Deployment ライセンスが必要
<b>Standard</b>	ISD Standard Editionライセンスが必要	<b>NW CTRL</b>	Network Controlライセンスが必要		
<b>ISD V6.2.1</b>	IBMサーバーに同梱されるSystems Director				

IBMサーバーに同梱されるSystems Directorによる監視



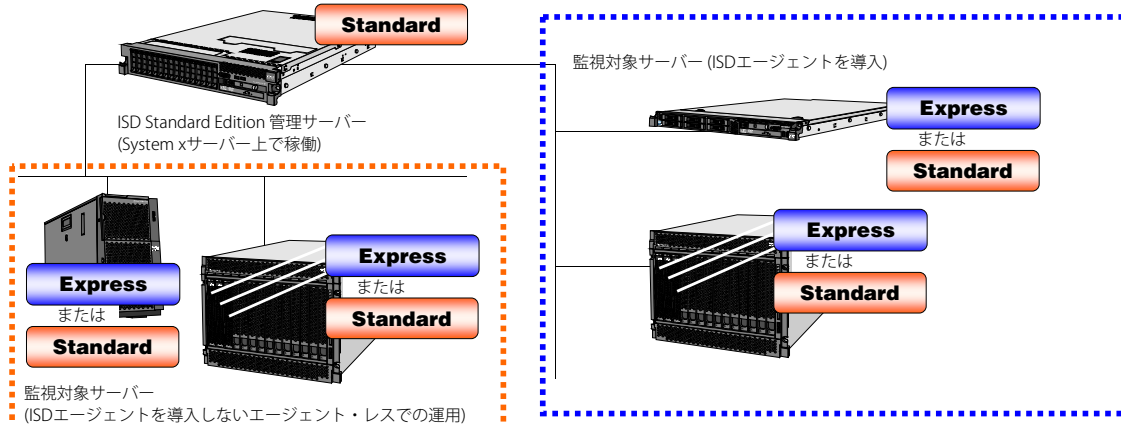
IBMサーバーに同梱されるSystems Directorサーバー環境を構築する場合、監視対象サーバーにStandard Edition およびExpress Editionのライセンスが使用可能です。ただし、Standard Edition およびExpress Editionが管理サーバーの場合、監視対象サーバーはStandard Edition およびExpress Editionのライセンスが必須となります。

ISD Express Editionによる監視



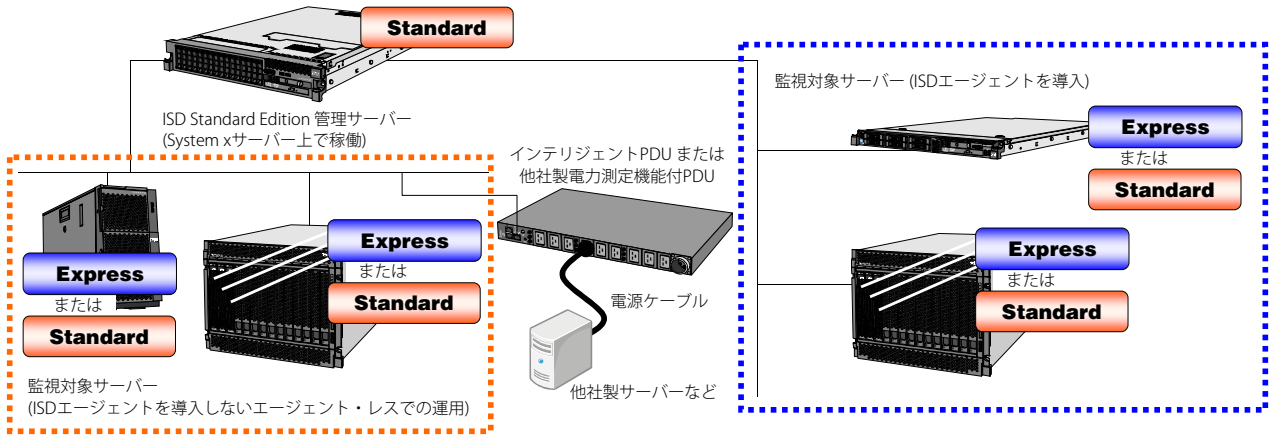
ISD Express Editionによる監視サーバー環境を構築する場合、管理サーバー自体にExpress Editionのライセンスが必要になります。また、ISDエージェントを導入する監視対象サーバー側にも、Express Editionライセンスが必要になります。BladeCenterについては、Bladeサーバーごとにライセンスが必要になります。ISDエージェントを導入しないで監視するサーバー、つまりはエージェント・レスでの運用ということになりますが、この場合についてもExpress Editionのライセンスが必要です。ただし、ISDエージェント導入時と異なり、監視できる項目は異なりますのでご注意ください。

ISD Standard Editionによる監視



ISD Standard Editionによる管理サーバー環境を構築する場合、管理サーバー自体にStandard Editionのライセンスが必要になります。次に、ISDエージェントを導入する、しないに関わらず監視対象サーバー側には、Express EditionまたはStandard Editionのライセンスが必要になります。ISDによる管理、あるいはISD Express Editionに含まれている機能(VMcontrol Express)などをお使いになる場合にはExpress Editionを選択すれば問題ありません。ただ、後述するStandard Editionにしか含まれていない機能をお使いになる場合には、Express Editionに別途該当機能のライセンスを購入していただくか、Standard Editionを購入する必要があります。(多くの場合、Standard Editionを購入していただいた方が安価となります。) また、Standard Editionには、サーバーのリモート操作やブルースクリーンのキャプチャーなどの機能を持つ、Virtual Media Key (VMkey)とのセットもあり、VMkeyを別途お求めする予定がある場合にはセットで購入した方が安価となります。なお、Standard EditionにはExpress Editionにあった、CPUソケット数によるライセンス分類はありません。

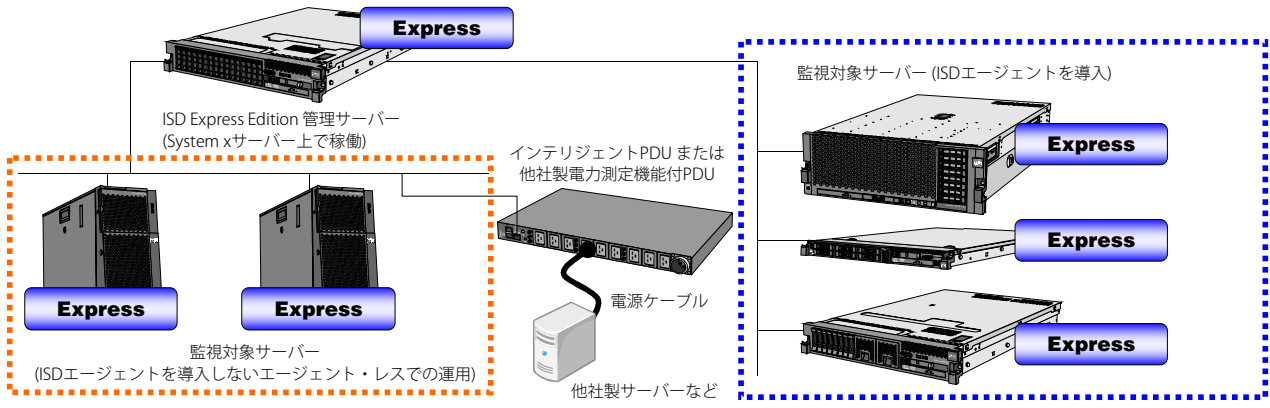
### Active Energy Manager(AEM) による消費電力モニタリング



Active Energy Manager(AEM)により、消費電力のモニタリングを行う場合、追加のライセンスは必要ありません。インテリジェントPDUなど、接続機器の消費電力を測定できる装置の先に他社製サーバーなど、サーバーが接続されたとしてもライセンスの追加は不要です。

AEMには消費電力の上限値を設定できる、Power Capping機能がありますが、この機能をお使いになる場合には別途ライセンスの追加が必要です。(後述)ただし、AEM (Power Capping機能) については60日間無料でお使いになれる体験版ライセンスが用意されていますので、この体験版ライセンスをお使いになる分には、この図に示されている条件と同じライセンス状態でお試しになれます。

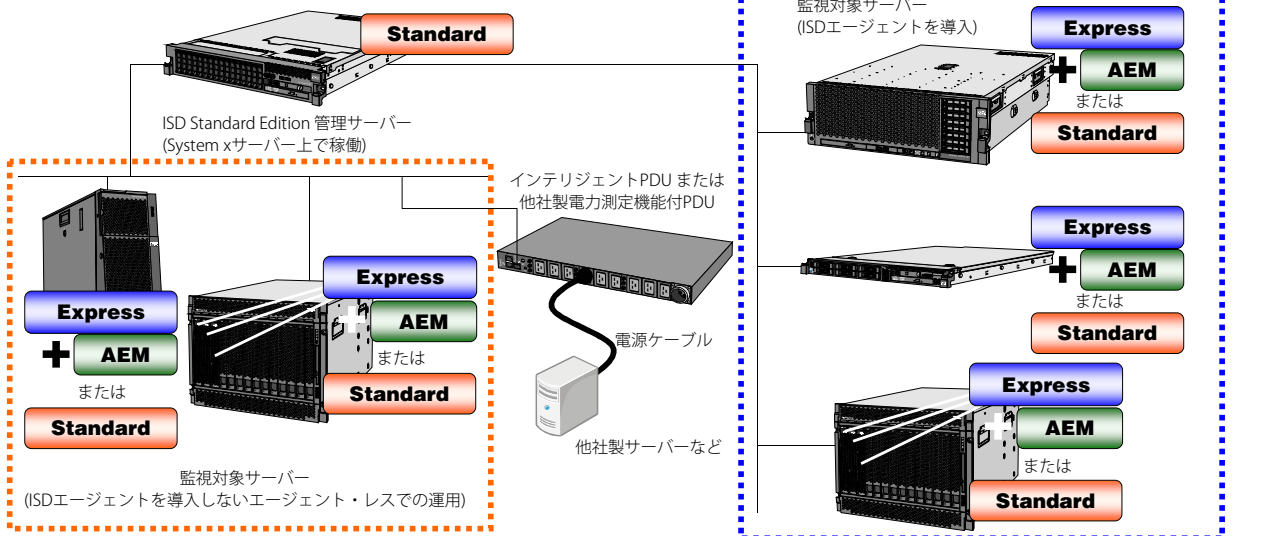
### Active Energy Manager(AEM) による消費電力モニタリング #2



Active Energy Manager(AEM)の消費電力モニター機能についてはISD Express Editionにも含まれています。よって、ISD Express Edition上で構築することもできます。AEMの消費電力モニタリングを行う場合、追加のライセンスは必要ありません。インテリジェントPDUなど、接続機器の消費電力を測定できる装置の先に他社製サーバーなど、サーバーが接続されたとしてもライセンスの追加は不要です。他社製サーバーなど

AEMには消費電力の上限値を設定できる、Power Capping機能がありますが、この機能をお使いになる場合には別途ライセンスの追加が必要です。(後述)ただし、AEM (Power Capping機能) については60日間無料でお使いになれる体験版ライセンスが用意されていますので、この体験版ライセンスをお使いになる分には、この図に示されている条件と同じライセンス状態でお試しになれます。

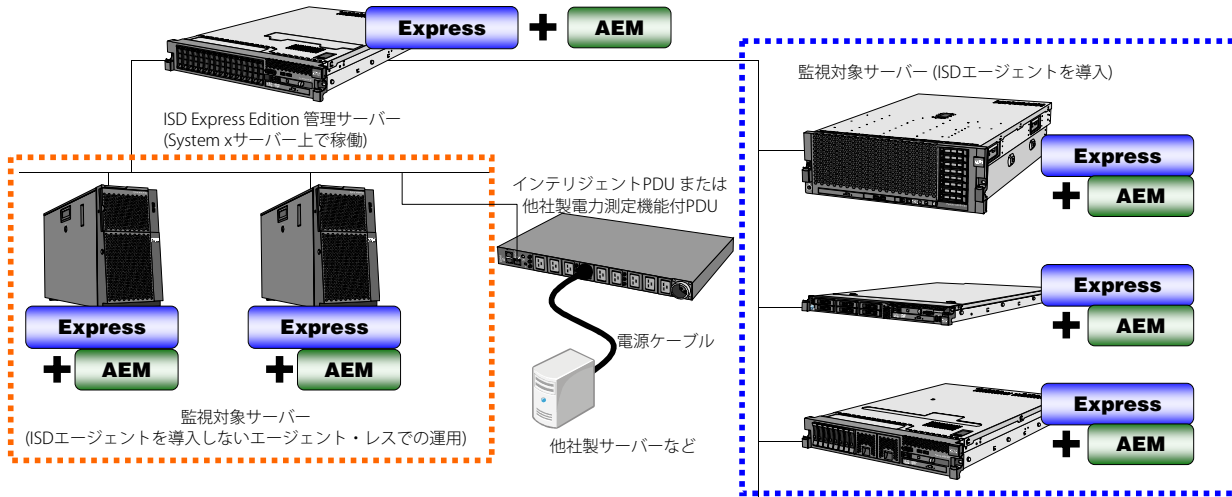
### Active Energy Manager(AEM) による消費電力上限値設定



Active Energy Manager(AEM)により、消費電力の上限値設定、Power Capping機能を用いる場合、設定対象の機器にはAEMのライセンスが必要になります。ISD Standard EditionにはAEMのライセンスが含まれていますので、もちろんISD Standard Editionでも構いません。

インテリジェントPDUに接続されている機器類については、Power Capping機能を用いることができませんので、ライセンスは不要です。

## Active Energy Manager(AEM) による消費電力上限値設定 #2

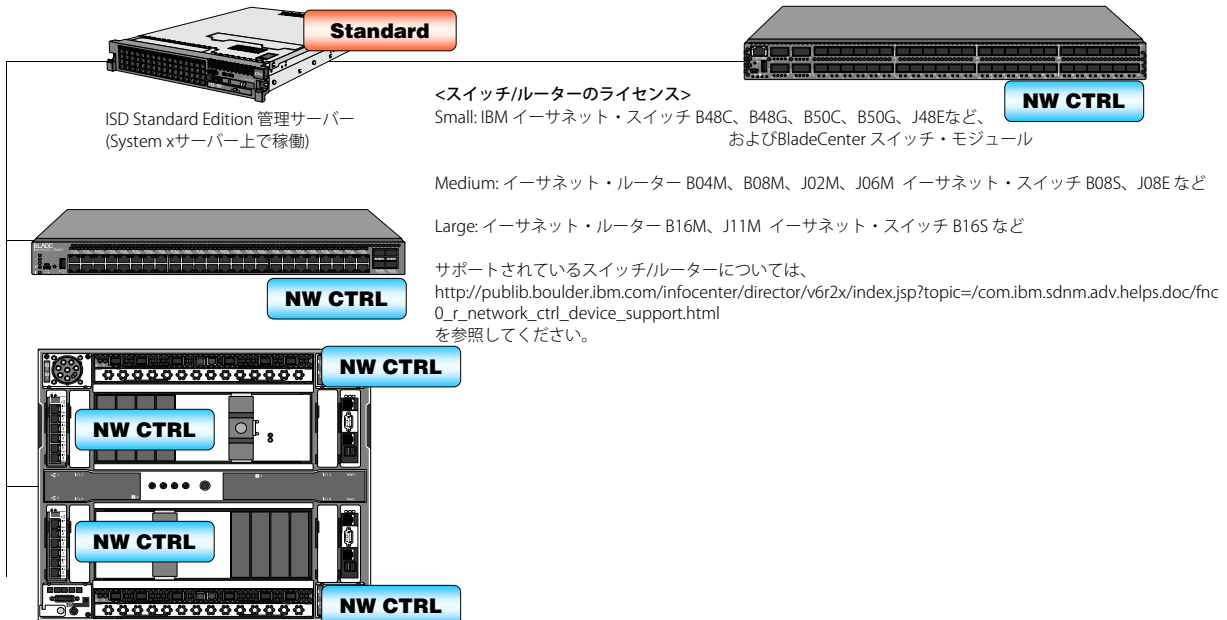


監視サーバーをISD Express Editionにて構築している場合には、Active Energy Manager(AEM)の消費電力の上限値設定、Power Capping機能を用いる際に、設定対象の機器にはAEMのライセンスが追加が必要になります。ISD Standard EditionにはAEMのライセンスが含まれていますので、もちろんISD Standard Editionでも構いません。

インテリジェントPDUに接続されている機器類については、Power Capping機能を用いることができませんので、ライセンスは不要です。

ISD Standard EditionにはVMkey付きの製品もありますので、単体のAEMを購入する場合よりも多くの場合安価になります。

## Network Controlによる ネットワーク機器・トポロジー管理



ISD Standard Editionには、Network Controlのサーバーライセンスが含まれています。ただし、Network Controlによりネットワーク機器の管理や、ネットワーク・トポロジーの管理を行う場合には、管理対象とするネットワーク・スイッチ毎にNetwork Controlのライセンスが必要になります。

Network Controlのスイッチ用ライセンスは3種類あり、1U/2U サイズで、ポート数が固定されているスイッチ/ルーターおよびBladeCenter スイッチ・モジュールを対象とするSmall、モジュール形式で、最大8個までのオプション・インターフェースやコントローラー・モジュールをサポートするスイッチ/ルーターを対象とするMedium、モジュール形式で、8個以上のオプション・インターフェースやコントローラー・モジュールをサポートするスイッチ/ルーター用のLargeライセンスがあります。

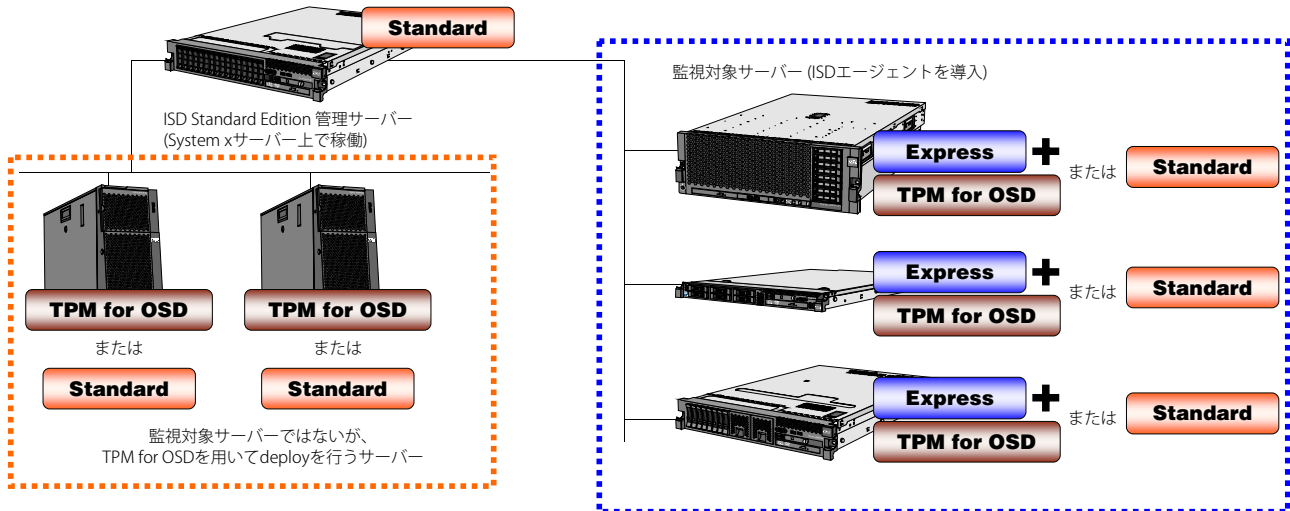
※ISD Standard Editionに含まれているNetwork Controlは機能限定版になります。Network Controlに含まれる全ての機能を用いるためには、別途Network Controlのライセンスが必要になります。

## Tivoli Provisioning Manager for OS Deployment

ISD Standard Editionに含まれている機能は、Tivoli Provisioning Manager for OS Deployment (TPM for OSD)になります。

過去に存在したTivoli Provisioning Manager for OS Deployment IBM Systems Director Edition (TPM for OSD ISDE)や、別製品であるIBM Tivoli Provisioning Manager for Images(TPM for Images)とは異なりますので、ご注意ください。

### TPM for OSDによる システムイメージ配布



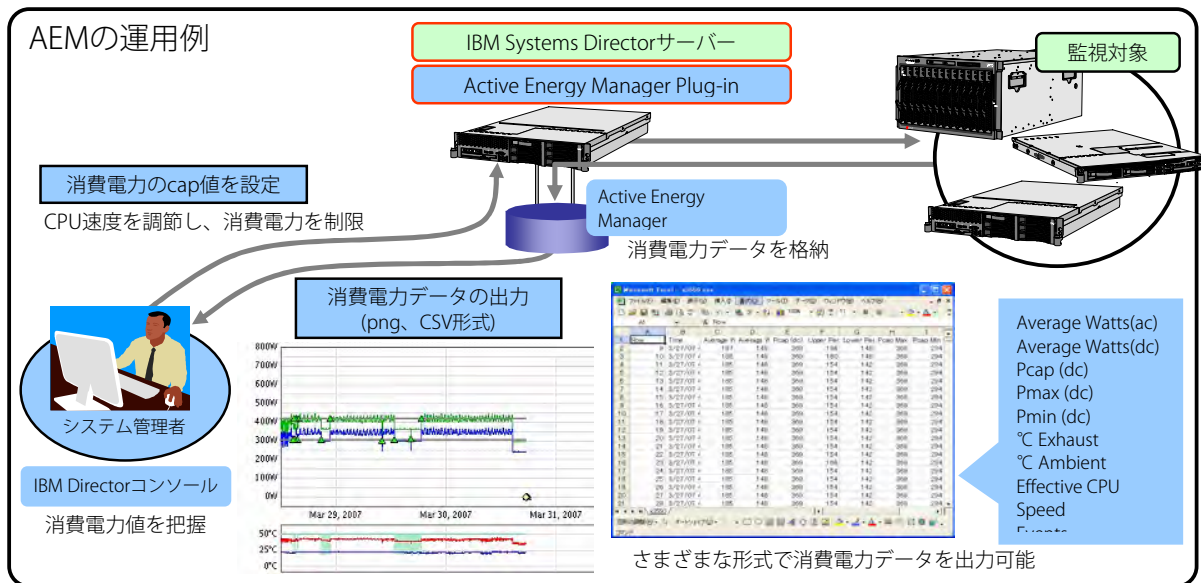
ISD Standard Editionには、TPM for OSDのライセンスが含まれています。実際に、配布 (deploy)を実施する際には、対象となるサーバーについてもTPM for OSDのライセンスが必要となります。TPM for OSDの単体製品としてのライセンスを購入していただくか、ISD Standard Editionのライセンスを購入することで対応する方法があります。TPM for OSDのライセンスは通常のTivoli製品と同様、Passport Advantageにてライセンスを購入していただくこととなりますが、TPM for OSDのライセンスはProcessor Value Unit (PVU)による課金体系となっています。一方、ISD Standard Editionについてはサーバー単位での課金となっていますので、より簡易に計算することができます。AEM(Power Capping)機能を用いる場合や、Virtual Media Key (VMKey)とのセットで購入した方が安価な場合にはISD Standard Editionをお求め下さい。ISDの監視対象とはしないサーバーの場合には、TPM for OSDの単体ライセンスを購入する方が良い場合もあります。



# Active Energy Manager

## ■ Active Energy Manager (以下AEM) について

AEMは、実際のサーバー消費電力をグラフや表形式での監視を行うことで消費電力を制御し、様々な形式(png、CSV)での出力が可能なIBM Directorのアドオンツールです。



## ■ ライセンスとサブスクリプション

- AEMは、以下のURLよりダウンロードしてください。(ダウンロードの際は、使用者登録(IBM ID)が必要となります。)  
<http://www.ibm.com/systems/software/director/downloads/plugins.html>
- AEMのモニタリング機能は、ライセンスの購入が必要ありません。
- AEMの管理機能(キャッピング/セービング)は、上記のWebサイトからダウンロード後、60日の評価期間中は無償で使用することができます。評価期間終了以降も継続して使用するためには、下記のライセンスの購入が必要となります。(当プラグインを導入する管理サーバーおよび監視対象サーバー単位にライセンス及びサブスクリプションが必要になります。)

### ライセンスのご購入

#### 【基本ライセンス構成】

製品番号	製品名	価格(税別)
46D1008	Director Active Energy Manager x86 V4.1(ライセンス+新規1年サブスクリプション)	26,000円

46D1008には、1年のサブスクリプションが含まれます。  
継続してご使用になる場合は、以下のサブスクリプションをご購入ください。

#### 【継続してご使用される場合】

製品番号	製品名	価格(税別)
46D0969	Director Active Energy Manager x86 V4.1(継続用1年サブスクリプション)	5,200円

#### 【ライセンスが切れた場合】

製品番号	製品名	価格(税別)
46D0970	Director Active Energy Manager x86 V4.1(期限切れ用1年サブスクリプション)	13,000円

【CD-ROM】 ソフトウェアはWebからもダウンロードできます。下記URLをご参照ください。

<http://www-03.ibm.com/systems/software/director/aem/index.html>

46D0968	Director Active Energy Manager x86 V4.1(CD Media Pack)	13,000円
---------	--	---------

## ■ Active Energy Manager 管理対象システム - IBM サーバー(2011年7月29日時点)

※最新の管理対象システム情報に関しては下記のサイトをご参照ください。

【管理対象システム - InformationCenter】

[http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/director/v6r2x/index.jsp?topic=com.ibm.director.aem.helps.doc/frb0\\_r\\_HW\\_reqs\\_managed\\_systems.html](http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/director/v6r2x/index.jsp?topic=com.ibm.director.aem.helps.doc/frb0_r_HW_reqs_managed_systems.html)

サーバー	ファームウェア・レベル		モニタリング	キャッピング	サーバー	ファームウェア・レベル		モニタリング	キャッピング
	UEFI/BIOS	IMM/BMC				UEFI/BIOS	IMM/BMC		
System x3200 M3 (7327/7328)	※1	※1	✓※4	✓※4	BladeCenter HS12 (8014, 8028)	n1e125a	n1bt07l	✓	✓
System x3250 M3 (4251/4252)	※1	※1	✓※5	✓※5	BladeCenter HS20 (7981, 8843)	bwe128a	bwbt35a	✓	✓
System x3400 M3 (7378, 7379)	※1	※1	✓	✓	BladeCenter HS22 (1936, 7870)	※1	※1	✓	✓
System x3500 M3 (7380)	※1	※1	✓	✓	BladeCenter HS22V (1949, 7871)	※1	※1	✓	※2
System x3550 M3 (7944)	※1	※1	✓	✓	BladeCenter HX5 (7872, 1909)	※1	※1	✓	※2
System x3620 M3 (7376)	※1	※1	✓	✓	HX5(7872) + MAX5(46M6973)	※1	※1	✓	※2
System x3630 M3 (7377)	※1	※1	✓	✓	IBM MAX5 for BladeCenter	※1	※1	✓	×
System x3650 M3 (7945)	※1	※1	✓	✓	BladeCenter E	AMM:bpnet28g以降		✓	—
System x3690 X5 (7148, 7149)	※1	※1	✓	✓※2	BladeCenter H	AMM:bpnet28g以降		✓	—
System x3755 M3 (7164)	※1	※1	✓	×	BladeCneter HT	AMM:bpnet28g以降		✓	—
x3850 X5/x3950 X5(7145, 7146)	※1	※1	✓	✓※2	BladeCenter S	AMM:bpnet34b以降		✓	—
iDataPlex dx360 M3 (6391)	※1	※1	✓	✓					
IBM MAX5 option	※1	※1	✓	×					
その他のサーバー			✓※3						

- ※1 最新のファームウェアを適用してください。
- ※2 ソフトキャッピングをサポートします。
- ※3 電源モニターは、サーバーが計測デバイス(インテリジェントPDU等)に 関連付けられている場合にサポートされます。
- ※4 冗長電源モデルのみ。
- ※5 一部のCTOモデルにて対応。

### ●各種機能について

#### モニタリング

消費電力の推移をグラフ形式や表形式で表示したり、消費電力の平均値、Pcap値、CPUのクロック周波数などの確認を可能にする機能です。

#### キャッピング

消費電力のキャップ値を設定することにより、CPUのクロック周波数を調節して消費電力を制限する機能です。